

自己評価結果公表シート

別紙 2

作成 福島めばえ幼稚園

めばえ幼稚園

1. 本園の教育目標

豊かな人格形成を目標におき、生涯にわたる人間性の基礎を養う。愛、自立、健康、創造を4つの柱とし、入園から卒園までの園生活を通して、社会性を養い自主性を育てる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己点検・自己評価することにより、保育者自身の振り返りと自園を客観的に見直す目を養い、保育者の資質の向上、保育の向上を目標に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の教育方針に基づき、教育課程を作成している。	環境を通しての保育、遊び保育の実践をめざして、従来の一斉型保育から遊び保育へ移行するため、学びを得て実践してきた。 コロナの影響で、他学年との交流をいかにするとできるかの工夫をした。また、マスク生活による言葉の獲得に影響がでていたため、話す機会を多くした。
保育者および保育の質の向上を図るために、園内研修を充実させる。	園内研修の中で実践的な内容を多く取り入れて、救急救命、手遊び、ごっこ遊びなど実技や公開保育を取り入れてリアルを感じられるように内容を工夫した。 環境の充実のため、国学院大学助教 中野 圭祐先生に2回来園いただき、指導を継続して依頼した。
幼児一人ひとりの教育ニーズを把握し、適切な指導を行う。	発達障がいのある子ども、気になる子どもに対し、教職員間で共通理解を図り、必要に応じて個別の関わりを行っている。子どもがどこに困っているかを見極めて、いろいろな立場の教職員と話し合いを持ちながら探り、適切な対応を心がけている。 全職員でより深くチーム保育や幼児理解も求められるようになってきた。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や意見に適切な対応をする。保護者との連携を図り、幼児のよりよい育ちへとつなげる。	日頃から、幼児の様子と年齢なりの発達段階を知らせ、園と家庭と一体となって幼児の成長を促している。要望や意見に関しては、真摯に受け止め、参観日や園だよりを通じて園の考え方を示しながら、丁寧に対応している。個人の相談業務の充実を図る。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育者一人ひとりが適切に自己点検、自己評価し、自分の保育の課題を見つけることができた。教育方針の理解や具体的な保育内容や援助を考え、実践できるよう努めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
家庭との連携	令和4年度はコロナに対し保護者の理解も進み少しずつ再開できる内容、工夫して新しい形で行事をするなど子どもの経験を増やすことができた。 コロナ感染者が出るたびに早めに学級閉鎖や注意喚起をしてきたことで、クラスターを出さずに過ごせた。 令和5年はコロナが5類に移行するため、保護者の交流をふくめコミュニティーの場を増やしていきたい。
幼児教育の意識についての発信	地域の方々との交流の中から園の教育方針や内容を理解していただいたりホームページの更新ページの充実を図ったりして、最新情報を公開していく 令和4年度から、担任が週に一度交代で子どもの様子をアップするようになり好評を得ている。引き続き、めばえの保育を理解していただくように内容を工夫していきたい。
子育て支援	愛着関係が上手く築けずに入園してくる子どもが多い中、入園前の親子へのアプローチの必要性を感じる。ピッコロクラブ(未就園児の親子のサークル)の充実を図り、園児の保護者へも日常での関わり方などを知らせ、今あるべき親子関係の在り方を提案していく。発達について支援が必要な場合早めにお知らせして共に考える姿勢を示し、孤立子育て防止に努める。
その他	子どもの活動、保護者同士の交流などを従来していた活動やイベントなど意味を考え、在り方や方法を探り今後の育ちを促す活動の充実を図りたい。

6. 学校関係者の評価

令和5年5月26日に学校評価委員会を実施し、承認されました。
引き続き、子どもにとって学びの環境を整え、成長を促してほしいとの評価でした。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。